

命をあずかる責任

鹿児島大学教育学部附属小学校六年 白方 侖重

私の将来の夢は獣医だ。最初は、動物が好きという理由だけでなんとなくなりたいたいと思っていた。でも、動物の命をあずかる責任をおうことは、そんなに軽い気持ちではいけないと実感する出来事があった。

私はデグーという小動物を飼っている。デグーは外見がねずみに似たげの歯類で、元々ペルーのアンデス山脈に生息するテングネズミ科の動物だ。それはデグーが生後半年くらいの頃、体調をこわしてしまった。私は普段から世話をしていたため体調の異変に一番はやく気付くことができた。しかし、鹿児島市にはデグーなどの小動物を診察してくれる動物病院がほとんどなく、探すのに苦労した。「大丈夫かな。治るかな。」

そんな不安をいただいた。これをきっかけに、犬やネコ以外にも色々なペットが飼われているのに、診てくれる病院が意外

と少ないことを知った。それなら自分が獣医になって一匹でも動物を助けられる病院を増やしたいと思った。

その日から獣医について関心を持つようになった。体験学習に参加したり、インターネットや本で調べたりして知識を深めた。中でも心に残ったのは災害時のペットのことだ。飼い主と一緒に避難所に入れない。なぜならアレルギーなどを持っている人や、鳴き声などの騒音の問題によると知ったが納得できない気持ちでいっぱいだった。その後、東日本大震災や熊本地震の被災地を訪れる機会があった。その時以前に聞いた思いを語り部タクシーのドライバーの方に聞いてみた。そこでペットとの逃避生活の中で人間だけでなく、ペットも病気にかかり命を落とすものもいたという話を聞いた。

飼い主の方々も精一杯ペットを守ろうとしたことを知り、心が痛んだ。このこと

から獣医は飼われているペットだけでなく人の心も助けられることを実感した。私は獣医になるという夢を実現させるためにしておくことが二つある。一つ目は色々な言語を学ぶことだ。そのために将来留学したいと思っている。なぜなら言葉を学ぶことでたくさんの方の国の人と会話ができるため自分の知らないことを教えてもらったりでき、知識を増やせると思うからだ。二つ目は相手の事を考えることだ。私はつい自分中心に考えてしまっている。でも、相手のことを一番に考えれば将来獣医になった時ペットや飼い主の人から信頼してもらえると思うからだ。命をあずかることに責任を持ち、夢に向かって一歩一歩前に進む努力をしていく。

白方 侖重 のライフプラン

将来なにになりたいか? 獣医

その理由: 動物の病気を治し飼い主の人や動物の役に立ちたいと思ったから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2018年	12才	小学校卒業 受験勉強を頑張る。	塾の月謝 受験料
2019年	13(中1)	中学校入学 部活に入部する!	
2020年	14(中2)	生徒会に入る!	
2021年	15(中3)	中学校卒業 受験勉強を頑張る。	
2022年	16(高1)	高校入学 アルバイトをする。	
2023年	17(高2)	獣医の専門学校への 受験に向けて勉強 (理系を中心に!)	授業料
2024年	18(高3)		
2025年	19(専1)	獣医学部がある学校へ入学	入学金 授業料
2026年	20(専2)	オーストラリアに留学する。 →ゆうたい類を専門に	留学費
2027年	21(専3)	ゆうたい類を専門に 勉強する。	
2028年	22(専4)	国家試験に向けて 勉強する。	
2029年	23(専5)		
2030年	24(専6)	国家試験に合格する。	
2031年	25	就職する。(就職試験)	
2032年	26	小型動物を専門として、 動物をちりょうする!	
2033年	27		
年			